

およそ五分の一の縮尺で、
精巧に再現した世田谷公園
のミニSL(軌間220mm)。



日本国有鉄道門司鉄道管理局小倉工場が製作した
「門デフ」と呼ばれるデフレクター(除煙板)を装備する
D51形蒸気機関車(SL)で現存するのは、この272号機
のみで、大変貴重なSLです。

募集期間／令和元年8月1日から令和2年3月31日まで(期間は延長することがあります)
寄附金の使途／D51形蒸気機関車(D51-272)及びヨ5000形車掌車(ヨ14740)

の塗装・修復費用(最終的に目標額に到達しなかった場合は、世田谷区みどりの
トラスト基金に積立て、SLのメンテナンス等に活用させていただくことがあります。)

目標金額／1500万円

※寄附額のうち2000円を超える部分は、税金の控除対象となります(上限があります)。

※このプロジェクトについて、詳しくは、区のホームページ「みどりを守り増やすために寄附を
お寄せください(世田谷区みどりのトラスト基金)」をご覧くださいか、または、公園緑地課
03(5432)2295まで、お問い合わせください。

ふるさと納税でよみがえる！ 「国鉄色」デゴイチの雄姿 ～皆さんからの寄附を募集します

世田谷公園で、園内を周遊するミニSLのモデル「デゴイチ」の愛称
で親しまれているD51-272とテンダー(炭水車)、車掌車ヨ5000形
ヨ14740を連結し、静態保存しています。

令和元年8月、D51-272が傘寿(80歳)を迎えるのを機に、令和
2年度、11年ぶりとなる再塗装を予定しています。

そこで、往年の雄姿を再現するために、かつての国鉄色による塗装
に要する費用をクラウドファンディングで募集します。

ご寄附いただいた方にはD51-272再公開前の内覧会や撮影会
へのご招待などの特典を用意しています。ご協力をお願いします。

昭和の近代化を担った貴重な産業遺産を次の世代に遺しましょう！



36年ぶりにD51-272(軌間220mmのミニSL)と再会した清水さん

清水道雄さんは、昭和57年に開通したミニSL(D51-272)の初代運転士のひとりです。世田谷にキャンパスがある大学の鉄道研究会に所属していた当時、区の要請を引き受けてくださいました。

縮尺五分の一のデゴイチは国鉄の技師の皆さんが製作したもので、石炭(無煙炭)を火室で燃やしてボイラーで水を沸騰させ、高温高压の水蒸気を弁で調整しながらシリンダー(気筒)の動きをロッド(鉄棒)で伝え、動輪を回すという本格的なものです。このほかにも、デフレクター(除煙板)の裏から潤滑油をベアリング(軸受け)に垂らしてボール(玉)やローラー(円筒)を使わないなど、本物と同じ仕組みで作られています。※現在は、補助動力のモーターで定時運行しています。

当時、清水さんと同僚は、本物のD51形蒸気機関車の操作手順書を熟読して、定時運行に臨みました。

世田谷公園のD51-272は、「門デフ」が装備されたD51形唯一の保存機で、連結された車掌車(緩急車)のヨ5000形(ヨ14740)とともに、貴重な産業遺産です。

精巧に再現したミニSLのD51-272とともに展示されていることが、他の保存機と異なる点です。

このD51-272(実機)往年の雄姿を国鉄色で再現し、末永く保存していくため、皆さんのご協力をお願いします。

.....郵送するときの切り取り線(ファクシミリときは、切り取らないで送信してください。).....

寄附申出書

令和 年 月 日

世田谷区長あて

寄附申出人

ふりがな	
氏名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

下記のとおり、「SL国鉄色塗装プロジェクト」の寄附を申し出ます。

- 1 寄附金額 金 _____ 円也
- 2 区ホームページ及び現地へのお名前の掲載 希望する ・ 希望しない
- 3 ふるさと納税ワンストップ特例制度の活用 希望する ・ 希望しない
- 4 内覧会・撮影会へのご招待 希望する ・ 希望しない
- 5 メールマガジンの送付 希望する ・ 希望しない